



新しい時代の幕開けだ！ ～令和最高の体育祭を～

すべての種目が終わった後の生徒たちの顔は、満足感と充実感にあふれていました。熱戦に次ぐ熱戦で、最後の最後までどちらの団が勝つかわからない、生徒たちにとってもハラハラドキドキの体育祭となりました。7月から練習を始めた応援合戦も、3年生を中心としたそれぞれの団の個性あふれる演技で、甲乙つけがたいものでした。また、PTA玉入れもたくさんの保護者や地域のみなさんに参加していただき、大変盛り上がりしました。

そして、何といても一番感心させられたのは、全校生徒の一体感でした。3年生が下級生に声をかける場面がたくさんありました。勝ったときはみんなで喜び、負けたときは励まし合い、時には団に関係なくお互いにエールを送り合う姿は、本当に素晴らしいものでした。

門前中学校の**新しい時代の幕開け**を感じることでできた、**令和最高の体育祭**になりました！！



『全国学力・学習状況調査』『県基礎学力調査』の結果から

先日、文部科学省から今年度の学力テスト結果が公表され、石川県は小学校、中学校ともに全国のトップクラスであることが分かりました。輪島市では、学校・家庭・地域が児童・生徒の学力・学習状況を共有することで、教育への関心を高め、協力して市全体の学力向上につ

なげること

	国語	数学	英語	社会	理科	合計
門前中学校	76	63	55	61.0	45.7	300.7
石川県	77	65	58	58.6	54.7	313.3
全国	72.8	59.8	56.0			

なげること

【 学力調査結果分析とこれまでの取組 】

全国平均と比較すると、国語、数学が平均を上回っており、社会が県平均を上回っています。本校では5月以降、自校採点の結果をもとに、課題のあった問題について、授業や夏休みの補習等で取り上げ、復習を行っています。また、「根拠を示しながら表現する」ことに課題がみられることから、グループ活動を活性化させ、友だちの考えを聞くことでより深い学びになるよう授業改善に取り組んでいます。

オリンピックがやってきた!! 先生は金メダリスト!!



9月11日(水)にオリンピック教室が行われました。これは、JOC(日本オリンピック委員会)が全国の中学2年生を対象に、「オリンピックの精神」を学ぶ活動として取り組んでいるものです。北陸三県では、門前中学校が初めての会場として選ばれました。

教えて下さる先生は「荻原健司」さん。お父さん、お母さん世代ならおそらく知らない人はいないのではないのでしょうか。ノルディックスキーのチャンピオン「King of ski」と呼ばれたあの荻原健司さんです。

1時間目は、マットを使った「そりリレー」で、チームワークやルールを守る大切さを学びました。最初はなかなかうまくいかず、ほとんどの人がころんでいました。「この体育館は、全国で一番滑らない床です!」と荻原さんに言われながら練習を重ね、どのグループも見事なチームワークでタイムを縮めることが出来ました。

2時間目は、教室で荻原さんの体験を交えながらのお話です。クイズ形式でオリンピックの精神について学びました。キーワードは「Excellence(卓越・技術的なすばらしさ)」「Friendship(友情)」「Respect(尊重)」そして「平和」です。

最後に荻原さんは、「オリンピックに出場した選手は、誰よりもここに来たい、こうなりたいと努力してきた人たちです。目標をしっかりと持ち、強い気持ちで物事に取り組めば、必ず夢はかなえられます。」とお話しされました。生徒の心に強く響く言葉でした。輪島市出身のオリンピック小口貴子さんにも来ていただき、生徒たちにとって一生忘れることのできない貴重な体験になりました。

